

Japan creation space monova (モノヴァ)は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

資料
添付

～クラウドファンディングプロジェクト～

希少な群馬県産シルクを使った男帯のコンパクト財布 【丸中×monova】

帯生地の魅力を伝えるべく、
丸中(株)とmonovaがタッグを組み
大手クラウドファンディングサイトである「Makuake」にて
プロジェクトをスタートしました。

桐生産地の織物技術を集約したモノづくり

2014年に世界遺産に登録された富岡製糸場のある群馬県。
絹織物の産地として知られる地で、1936年に創業した丸中(株)は、
和装・洋装の商社として生地や製品を供給してきました。
2012年より自社ブランド商品の開発に取り組み、帯の生地を使った
小物作りなどを手掛けています。帯の生産量は30年前の10分の1と
驚くべきスピードで減り続けていますが、伝統を途絶えさせないため
に、帯生地の魅力を発信するべく今回のプロジェクトを立ち上げまし
た。希少な群馬県産のシルクと、伝統の男帯を使用した、ハリと光沢
の美しいコンパクトな財布をご紹介します。

日本のダンディズム

粋

を担う、男帯の財布



展示会 & イベント案内

<現在開催中の展示会>暮らしに寄り添う 端正で自由な箱家具 展

資料
添付

2019年10月3日(木)～10月15日(火) 津軽こぎん刺しの歩み 展

江戸時代頃から、衣服の補強・保温を目的に生み出されたこぎん刺。
現在ではファッションとしても広く愛される、青森県の伝統工芸です。



2019年10月5日 (土)

こぎん刺しワークショップ

【時間】1回目: 13:00～14:00 / 2回目: 14:30～15:30

参加費: 1650円(税込) / 各回定員: 6名

2019年10月26日(土)・27日(日)

讃岐発・はだか麦セミナー

【時間】13:00～14:30 / 参加無料各回定員: 6名

資料
添付

2019年10月17日(木)～10月29日(火)

親子で麦ごはん生活 展



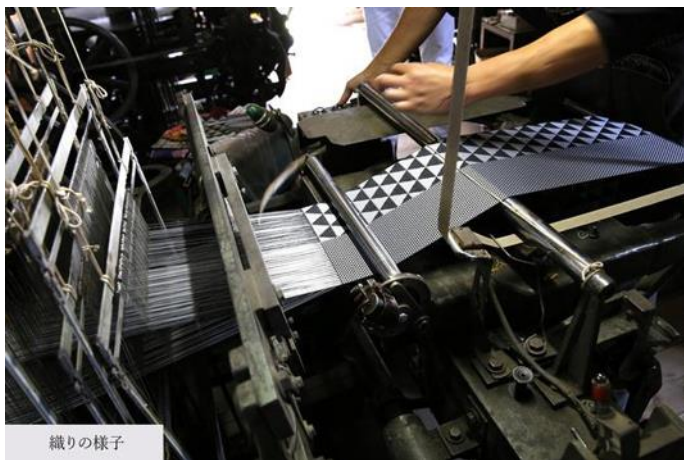
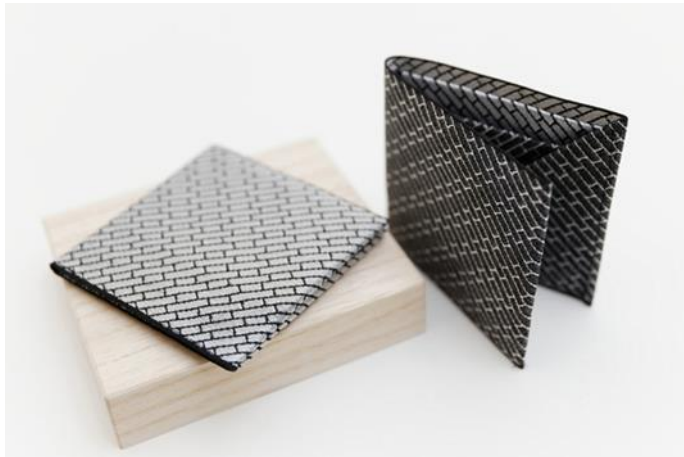
<お問合せ> Japan creation space monova 担当: 藤本

tel: 03-6279-0688 mail: info@monova-web.jp WEB: <http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取引をサポートしています。

ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

marunaka
KIRYU-JAPAN



織りの様子

世界遺産富岡製糸場の歴史を紡ぐ、 群馬県産シルクを使った男帯のコンパクト財布

◆帯にこもった「粋」の心を残したい！！

古くから、日本人の装いに欠かせないファッションアイテムだった帯。帯の生産量は30年前の10分の1と驚くべきスピードで減り続けています。「帯に派手なし」という言葉が残るように、帯は着物よりも色柄で遊ぶことのできるとても楽しいアイテム。それでいて小物ではなく、コーディネートの中心となり、洋服では決してできないお洒落ができるのです。このお洒落こそが「粋」と言われるもの。歴史と風土が築き上げたこの「粋」の心がしぼんでいくのを、このまま見過ごしてなどいられない！黙ってなどいられない！！そんな熱い思いで、矢も楯もたまらなくなって駆け出して立ち上げたのが、このプロジェクトです。

◆わずか1%にも満たない国産シルクを使用

国内で使用されているシルクの内、国産シルクのシェアはわずか1%未満。その1%に満たない希少な国産シルクのうち、35%を生産するのが群馬県。このプロジェクトで使用する絹糸は、すべて「群馬県産」です。

◆特殊な織機で丁寧に織り上げました

織は、桐生の帯生地工場である荒川織物の荒川さん。通常の角帯は帯生地に芯地を貼ることでハリを出しますが、荒川さんの作る帯生地は、シャトル(飛び杼)を使わない特殊な織機で織ることによって、芯地なしでもピンと立つほどのハリが生まれます。

◆帯の特徴を活かして作ったコンパクトな財布

「一本の布が形を変え、全体をまとめる」という帯の特徴を生かし、生地を裁断せず、「折る」「曲げる」といった帯結びの動作を基本として形を作っています。薄くコンパクトなことに加え、衣服と同じく布製のため、革に比べてより軽く、体に沿った自然でエアリーな持ち心地に仕上がりました。生地の柄は世界遺産である富岡製糸場製糸場のシンボルでもある煉瓦積をモチーフにしています。

プロジェクトページは
こちらのQRコードから
ご覧いただけます



【丸中株式会社 概要】

2014年に世界遺産に登録された富岡製糸場のある群馬県。その絹織物産地で知られる群馬県の桐生市で丸中は1936年に創業しました。以来、和装・洋装の商社として生地や製品を供給してきました。染色、織物、編み物、縫製などの各工程をシームレスにつなぎ製品化する“産地のハブ”の役割を目指し、2012年より自社ブランド商品の開発・販売を行っています。 <http://www.saien-marunaka.com>

株式会社トーマ 主催

「暮らしに寄り添う 端正で自由な箱家具 展」を開催！

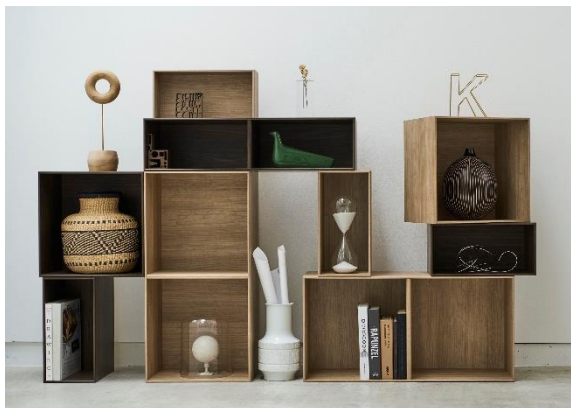
2019年9月5日（木）～2019年10月1日（火）

創業92年の奈良の建具メーカーが提案する新しい暮らし方。
独創的な技術とアイデアによるオンリーワンのものづくりを紹介します。

TOMA

V-TISS LIGHT

薄型ユニットシェルフ

暮らし方や生活シーンに合わせて
積み木のように組み合わせる箱家具

「V-TISS LIGHT」は、外からは見えないように金属フレームを内包することで、驚きの薄さと実用性を兼ね備えた端正な収納ボックスのシリーズです。

住宅ドアなどを92年にわたり製造してきた株式会社トーマが、板の表面シート1枚だけを残してカットし、その板を折り曲げて組み立てる技術「Vカット工法」を応用することで生まれました。

薄く端正な外観は、置かれる空間のイメージをモダンに引き立てます。全てのユニットが正方形をもとにしたサイズで設計され、ネジや穴がないデザインなので縦置き、横置きだけでなく上向きにして使用してもデザインの品位が崩れません。

配置の自由度を高める天板や脚のオプションパーツに加え、このたび表面素材のバリエーションをご紹介できるようになりました。

その時々暮らし方や生活シーン、好みのテイストに合わせて組み合わせ、より美しく住まうためのアイデアを是非本展示でご覧ください。

【展示内容】

V-TISS LIGHTシリーズの各ユニットと、暮らしに合わせたオススメの組み合わせプランをご用意しています。

【株式会社トーマ 概要】

1927年創業。奈良で92年の歴史を持ち、住宅のクローゼット、リビングドアなどを中心に国内製造を行う家具・建具メーカー。

木製品加工の生産技術と品質を一変させたVカット工法の開発をはじめ、創業から今日に至るまでの継続してきた技術革新や独創的な製品づくりによって、業界から「技術とアイデアのトーマ」と評価されています。 <http://www.e-toma.com/>

－開催概要－ 暮らしに寄り添う 自由な箱家具 展

会 期：2019年9月5日（木）～2019年10月1日（火）

10:30 - 19:00 /最終日は15:00迄 水曜定休

入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：株式会社トーマ

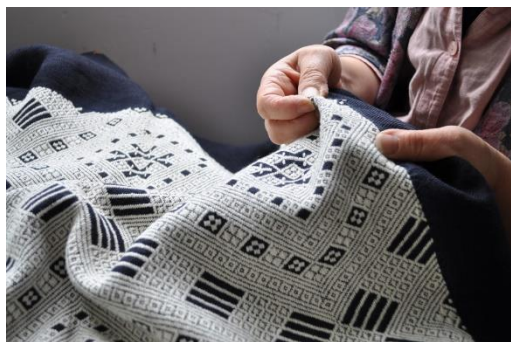
monova主催

「津軽こぎん刺しの歩み展」を開催！

2019年10月3日（木）～2019年10月15日（火）

江戸時代頃から、衣服の補強・保温を目的に生み出されたこぎん刺し。
一時は衰退しますが、今ではファッションとしても広く愛される、青森県の伝統工芸です。

KOGIN



縫って、着て。こぎん刺しが今ブームに。

江戸時代、津軽の農民は木綿の衣装を着ることが許されず、麻地の着物を何枚も重ね着することで、冬の寒さをしのいでいました。そこで、農村の女性たちが補強と保温のために麻生地に着物に、木綿の糸で刺子を施して生み出されたこぎん刺しは、北国の厳しい自然の中で生きてきた女性の知恵の産物です。江戸時代中期から明治に入ると木綿糸が農民にも手に入りやすくなり、装飾的な豪華なこぎんが刺されるように。地域ごとに象徴となる文様が生まれるなど更に親しみが広がります。しかし、その後近代になり安価で大量な綿布が入るようになると、手作業で手間のかかるこぎん刺しは衰退の一途を辿ります。そこで、こぎん刺し復興の立役者となったのが、昭和7年に民芸運動を提唱した柳宗悦らの勧めを受けて再興に努めた、弘前こぎん研究所の祖となる「財団法人木村産業研究所」でした。今では、こぎん刺しならではの多彩な柄表現が人気となり、手作りを楽しむ人が増加。「こぎんブーム到来」とも言われ、洋服やアクセサリなどファッションに広く取り入れられています。本展示では、こぎん刺しの歴史や、こぎん研究所による、人気のこぎん刺しアイテムをご紹介します。

【ワークショップ開催のお知らせ】

(有)弘前こぎん研究所の成田貞治さんを講師に迎え、こぎん刺しのコースターをつくるワークショップを開催します。初めての方でも挑戦しやすいよう、半分縫い上がっている体験セットをご用意いたします。是非奮ってご参加くださいませ。

開催日時:10月5日(土) 1回目:13:00～14:00 2回目:14:30～15:30

参加費:1650円(税込)/各回定員:6名/会場:monova/要予約(03-6279-0688)

【展示内容】

津軽こぎん刺しの歴史を紹介するパネルや作業着などの展示の他、名刺入れやポーチ、バッグ、ランチョンマット、しおり、アクセサリ、くるみボタンなど、津軽こぎん刺しをあしらった人気の小物類をご紹介します。

有限会社 弘前こぎん研究所

昭和7年、「財団法人木村産業研究所」として設立。その中で、民芸運動の柳宗悦らの勧めにより「こぎん」の資料収集等基礎的研究を始め、昭和37年に弘前こぎん研究所に引き継ぎ、現代まで伝統工芸である津軽こぎん刺しの普及に努めています。伝統を守りつつ、現代のエッセンスを取り入れたバッグや洋服など、日常に取り入れやすいアイテムを生み出し、ファッションブランドとのコラボレーションなども行っています。

<http://tsugaru-kogin.jp/>

－開催概要－ 津軽こぎん刺しの歩み展

会 期：2019年10月3日(木)～2019年10月15日(火)

10:30 - 19:00 /最終日は15:00迄 水曜定休

入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：japan creation space monova 協力：(有)弘前こぎん研究所

讃岐はだか麦本舗主催

「親子で麦ごはん生活展」を開催！

2019年10月17日（木）～2019年10月29日（火）

玄米の約3倍、精白米の約20倍の食物繊維を含む、食感が楽しい“はだか麦”
香川県より全国へ手軽に美味しく食べられるはだか麦の食べ方を紹介します。

讃岐はだか麦本舗



大麦と玄米のごはん



裸玄麦



NUDE GRANOLA プレーン

小さなお子様から大人まで もっと手軽で美味しい麦食生活

「讃岐はだか麦本舗」は、より手軽に身近に美味しく国産の大麦を食べてもらおうと、香川県産はだか麦を使った商品展開をしています。

はだか麦は産地が限られた希少性の大変高い大麦の一種で、玄米の3倍、白米の20倍もの食物繊維が含まれています。高い栄養価と安全性、美味しさが評価され、3年前から香川県内の保育所2園では、離乳が完了した12ヶ月以上のこども達のおやつに添加物不使用の『NUDE GRANOLA プレーン』が採用されています。

この度、レトルトパックになった新商品、『大麦と玄米のごはん』がリリースされました。忙しい朝にもより手軽に、バランスよく美味しい麦食を取り入れることができます。

小さなお子さまから大人の方まで、ぜひお楽しみください。

【展示内容】

・大麦と玄米のごはん【新商品】

玄麦・丸麦・押麦の3種のはだか麦に、山形県産つや姫（特別栽培）の玄米をブレンド。栄養価も抜群で、それぞれの食感も楽しめます。

・讃岐はだか麦本舗 活動紹介、・アレンジレシピ 紹介

《はだか麦セミナー》

「麦は麦でもはだか麦とは？」などの素朴な疑問や質問に、讃岐はだか麦本舗の高畑実代子さんが詳しく解説します。親子での参加、小さなお子様の参加も大歓迎です！

・10/26(土)・10/27(日) 13:00～(全2回) ※参加無料/各回定員6名。

参加の予約はmonovaの電話・メールで受付します。

【讃岐はだか麦本舗 概要】

明治21年創業の香川県の歴史ある精麦会社である株式会社高畑精麦が2014年に大麦の一種であるはだか麦のPRを目的に立ち上げたブランドです。店主の高畑実代子さんが、素朴なはだか麦の魅力を活かした手軽に美味しく食べられる麦食の提案を目指し、日々奮闘しています。

2017年10月には坂出市の事務所内に直営店がオープンしました。

<http://www.hadakamugi.jp>

－開催概要－ 親子で麦ごはん生活展

会 期：2019年10月17日(木)～2019年10月29日(火)

10:30 - 19:00 /最終日は15:00迄 水曜定休

入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：讃岐はだか麦本舗

株式会社中村製作所主催

「広島・熊野町 化粧筆のシンカ展 vol.2」を開催！

2019年10月31日（木）～2019年11月12日（火）

伝統を大事にしながらも工夫を積み重ねてきた熊野中村の筆。
肌あたりの良さや機能にもこだわった化粧筆をご紹介します。

中村
KUMANO-HIROSHIMA

伝統×伝統 熊野筆と越前漆器の融合

「熊野筆」で知られる広島県熊野町で、伝統の技法を大切にしながら工夫を重ね、使い手に寄り添った筆づくりに取り組んできた中村製作所。

長年、主要化粧品メーカーブランドでの化粧筆の生産で培われた経験と、独自の技法を活かし、オリジナルの化粧筆“LADY N”シリーズを制作しています。

肌に当てた時の感触、お手入れのしやすさ、敏感肌への対応など、「美」への悩みや願いに応じた化粧筆です。本展示では、大人気のLADY Nシリーズをはじめ、熊野筆の伝統と、越前蒔絵の伝統がコラボレーションした製品の新作を発表します。

【展示内容】

・蒔絵携帯筆

熊野筆と越前蒔絵、2つの伝統がコラボレーションした人気の携帯に便利な化粧筆。新たにはなまる(薔薇)と、はなまる(カーネーション)の柄2種がリリースされます。漆塗りの軸部分は1930年創業の漆器メーカー：山久漆工が手がけます。しっとり蒔絵が浮かび上がり、風格ある仕上がりになっています。

・LADY N シリーズ

シリーズによって腰や肌あたりが少しずつ異なり、使う方のニーズに合ったものがきっと見つかります。素材の使い分けにより、品質と使い勝手の良さを両立しています。

11/2(土)～4(月・祝)、美に関するイベントを開催します。
後日詳細をWEBにてお知らせいたします。

【株式会社 中村製作所 概要】

広島県熊野町に1953年創業。日本最大の筆の産地である地域とともに筆金具の製造を開始し、後に金属加工の精密技術と伝統的手法を融合させた筆作りを行う。創造・表現の道具として使ってくださる方々の立場になって、心地よく使い続けられる信頼性のある商品作りをすることを大切にしております。

<http://www.kumano-nakamura.jp>

－開催概要－ 広島・熊野町 化粧筆のシンカ展 vol.2

会 期：2019年10月31日(木)～2019年11月12日(火)
10:30 - 19:00 /最終日は15:00迄 水曜定休
入場無料

会 場：monova gallery
場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
主 催：株式会社中村製作所



蒔絵携帯筆



蒔絵携帯筆/秋桜



LADY N シリーズ Moe

monova主催

ふけいし

「カーボン賦形師が創る縁起物展」を開催！

2019年11月14日（木）～2019年11月26日（火）

CFRP(炭素繊維強化プラスチック)でつくられたダルマや招き猫。
2020年という新たな節目のスタートに現代最高技術の縁起物を提案します。

カーボンダルマ<伝統工芸Ver.>



カーボンダルマ<オリジナルVer.>



招鬼猫

CFRP（炭素繊維強化プラスチック）
で独自のモノづくりに挑戦

ジェット機の部品を製造する会社が、CFRP(炭素繊維強化プラスチック)で造ったMADNESSのカーボンアイテム。MADNESSは、カーボンの魅力をもっと多くの人々に伝えたいという想いから、2015年に株式会社フタバモデル製作所(岐阜県)のブランドとして誕生しました。同社の代表であり、高い技術を持つカーボン賦形師である片山慎太郎氏自ら手掛けるカーボンアイテムは、カーボンの繊維がより美しく見えるように、形状と作り方にこだわり制作されています。

MADNESSを直訳すると、「狂気の沙汰」、「熱狂する」といった意味になります。

「人々の驚きを超え、感動を与えるモノを作りたい」、「カーボン素材でしかできないモノを作りたい」、「カーボンの魅力をもっと知ってほしい!」という想いがMADNESSにこめられています。本展では岐阜県の伝統工芸である春慶塗で仕上げたカーボンダルマをはじめとするMADNESSの製品を一堂に展示します。2020年という新たな節目のスタートに現代最高技術のカーボン製のダルマ、招き猫を飾ってみませんか？

【展示内容】

- ・カーボン製フィギュリン、カーボン製雑貨
- ・フタバモデル製作所 活動紹介

【MADNESS/フタバモデル製作所 概要】

岐阜県・安八郡にある株式会社フタバモデル製作所は、約50年前木型製作会社として創業。時代とともに金型加工、自動車部品、航空機部品、カーボン部品の試作・量産など事業領域を拡大しアルミ、鉄、チタンなどの金属加工をはじめ、樹脂加工やCFRPの成形まで、材質を問わず幅広い分野のものづくりを支える設備を取り揃えています。新ブランドとして誕生したMADNESSでは、カーボン(CFRP)を軸とした独自のモノづくりに挑戦しています。<http://www.madness-carbon.com/>

—開催概要— カーボン賦形師が創る縁起物展

- 会 期：2019年11月14日(木)～2019年11月26日(火)
10:30 - 19:00 /最終日は15:00迄 水曜定休
入場無料
- 会 場：monova gallery
場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
- 協 力：株式会社フタバモデル製作所